

第5回 市民プロジェクト		
開催日時	平成25年10月24日(木) 午後7時05分～午後9時15分	
会場	北区白新町2丁目 長岡屋 2Fホール	
参加者	メンバー	小日向、中村(克)、やまだ、井嶋、長谷川、中村(直)、鈴木 渡部、村山、松井、 五十嵐(信)、豊崎、尾崎、長岡 (敬称略) 太字は女性 計 14名
	事務局等	豊栄駅前通商店街振興組合 1名 事務局チーム 3名 計 4名
内容	<p>1 開会(午後7時05分)</p> <p>2 オリエンテーション</p> <p>・資料1 別図1～3、資料2、資料3の順に従って資料説明 (事務局) 1. 今後のスケジュールを中心として、本プロジェクトが進みたいステップを日程を添えて示しました。市民プロジェクトとまちづくり構想検討委員会との関係性や北区自治協議会との関係性についても理解して欲しい。</p> <p>2. 市民プロジェクトとしても多くの時間は残っていない。今後のプロジェクトの日程を睨みながら、具体案の精度を高めていく必要があります。</p> <p>3. 本日の資料の後半に、参考資料が添付されてあります。前回でもご紹介したNHKの東北発未来塾関連資料、新聞記事を提供しました。 事務局からだけでなく、プロジェクト参加者からも情報提供していただいたものは、このように参加者に配布させていただきます。</p> <p>2 グループ別ワークショップ</p> <p>(事務局) 1. 第4回議事録で示したように、今回は3つのグループで討議します。</p> <p>2. Aグループは「集う機能」を中心としたグループ Bグループは「区役所機能」を中心としたグループ Cグループは「A・B以外の具体案」を検討するグループ</p> <p>3. 参加者は自分が担当したいグループで議論を深めてください。</p> <p>4. グループ毎に、ワークシートを参考にして背景・目的・計画概要・効果・手法等について議論して整理を進めてください。 シンポジウムで賛同が得られるような説得材料としての論拠が大切です。</p> <p>5. 今回はグループ別発表の後、質疑応答等を行います。他グループ提案への突っ込みなどもやってみたいと思います。</p> <p>質 問：Cグループは必要無いのではないかと思います。</p> <p>事務局：具体案は極端には幾つあっても良いと思われます。 新たな具体案を検討する可能性を残したまま進めたいので、Cグループを置きます。</p>	

<テーマ>

「区役所本館跡地には何が相応しのか？」

※中間報告①や検討委員会からの提言を参考にして、
背景、目的、効果、規模、手順等を推測してみよう！

別図1～3 参照

グループ別発表（発表者：B井嶋、A松井、C村山・やまだ）

Bグループ（発表：井嶋）

- ・最大の論拠は、移転に係る費用を最小化する必要が社会的な要請であるという事。わざわざお金をかけて移転する必要性は感じない。あるものは利用すればいい。
- ・葛塚の中心部にある区役所機能を残すことによって、来たくなくても来なければならない場所が区役所である。来たい人だけが来る「集会施設」とは違った意味がある。
- ・アオーレまでではなくても、区役所機能はコンパクトに保ち「集会機能」を補足する。
- ・区役所機能を移転してまで新たな機能を導入すべき必要性は感じられない。

☆質疑

- ・区役所に行く必要がある市民の頻度はそれほど多くは無い気がする。
- ・市場との関係性を大切に、賑わいが保てるのではないだろうか。
- ・現区役所の最大のデメリットは、「狭くて使いにくい」という職員の声がある。

Aグループ（発表：松井）

- ・特定の集会施設と言うよりも「複合的な多機能施設」を検討している。
- ・具体的に言えば、「学校機能」「高齢者集会施設」「子育て支援施設」等の複合体。
- ・エコや自然を意識した建物を望む声もある。
- ・葛塚市は5日毎だが、毎日やってる市場があっても良い。この場所一か所で用事が足りる機能を複合的に入れ込んでいく場所とする。区役所窓口機能があっても良い。
- ・新館2F、3Fを利用した高齢者施設、子育て支援施設の設置もある。

☆質疑

- ・学習機能や集会機能であれば、現在の公民館施設等でまかなえるのではないかな？新たに施設を作る必要性を感じられない。今までも新たな施設を作る時は希望に胸が高鳴っていたのだが、出来てしまえばその活用方法のソフトが無さすぎた感じがする。
- ・北区は教育水準が低いと言われている。それを補完・強化する必要がある。学校機能と言ってもシンボリックな学校を誘致することを提案している。

Cグループ（発表：村山・やまだ）

- ・単身高齢者の受け皿としての「ケアハウス」。それによって戸建て住宅の空き家が生じるので、それを改装した「シェアハウス」という住宅政策の起点を作りたい。
- ・上記いずれの施設でも元気高齢者の雇用が促進され、学生との連携が進む。
- ・高齢者住宅という考え方は「リタイヤ世代活用」という目的で設置したい。リタイヤ世代からは「コミュニティビジネス」という観点で、社会的な貢献活動を促進する。
- ・新館は「コミュニティビジネス」のプラットフォームという機能を持たせることができる。

例：子育てビジネス、教育ビジネス、配食ビジネス、介護ビジネス、食文化ビジネス

今までのようにボランティアばかりでは、活動に対する意欲は限定されてしまう。

- ・耕作放棄地を利用した新営農集団による農業従事者の獲得と自然農法のブランド化。展開するのは周辺部だが、中心部に募集・販売等の窓口業務機能を持つべき。
- ・「葛塚本物大学」先人の知恵や人間としての生き方を次代に伝えるための学校機能。高齢者の知恵を子供や孫の世代に伝えるべき役割を担う。世代間交流を図る目的がある。
- ・単身高齢者施設では「フィーリングカップル」を開催し「恋する世代」を広げる機能。

☆質疑

- ・現在の独身若者についても充分考慮してもらいたい。
- ・「恋する世代」の幅を広げる提案は面白い。

(事務局)

- ・今回のワークショップの発表を聞き、次回以降もそれぞれの参加者が関心のある分野を分けて、自分が発言したいグループに分かれたいと思います。

B：区役所機能を中心としたグループは、そのまま継続します。

AとCについては、それぞれの議論を踏まえて、次回までに新たな分類を整理して新たなグループを分けてから選んでもらうという作業を実施します。

- ・次回以降も、具体案の本格的な議論を進めたいと思います。自分が参加するグループの論拠を確固としたものにするのはもちろんのこと、他グループへの疑問点や不明確な点などを突っ込んで、発表に耐えられる内容に精度を高める作業を目指します。

3 今後の会議予定について

第6回市民プロジェクト

日時：平成25年11月21日（木）午後7時～9時

会場：白新町2丁目 長岡屋 2F

5 閉会（午後9時15分）

<資料>

次第

資料1 第4回「市民プロジェクト」議事録

別図1～3 チーム別ワークショップまとめ

今後のスケジュールについて

資料2 ワークシート

資料3 ワークシート（記入例）

参考資料 NHK東北発☆未来塾 公開セミナーレポート

NHK東北発☆未来塾 9月度講師分レポート

新潟日報記事「地域支える商店街活性化探る」